

3 安全 ～安全で安心な地域づくり～

(1) 大規模災害に強い「みなと」づくり

港湾における大規模地震対策の推進、津波・高潮被害の低減

● 港湾における大規模地震対策の推進

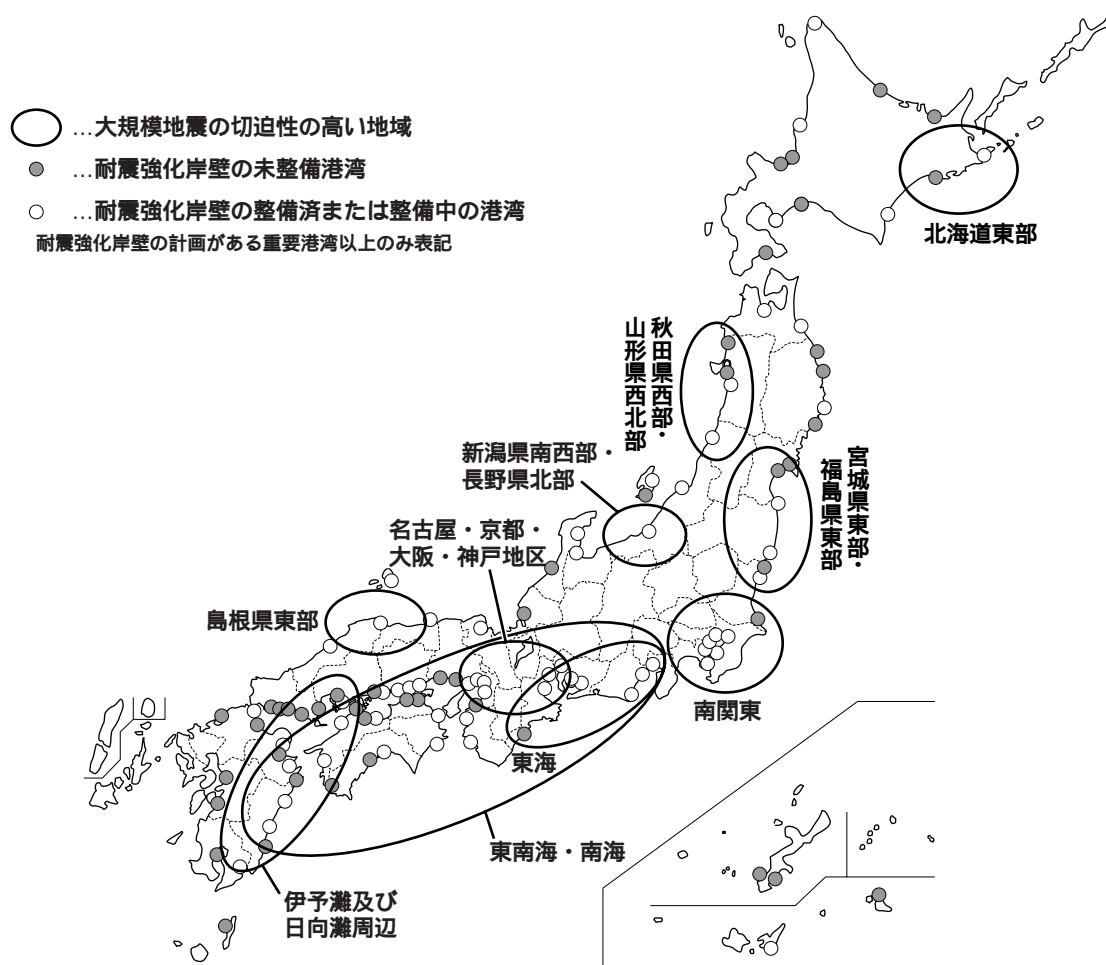
大規模震災時における避難者や緊急物資等の輸送を確保するため、耐震強化岸壁と一体になり震災時の住民避難や被災地の復旧・復興の支援拠点として、臨海部に防災拠点を整備し、防災機能の向上を図る。

特に、大規模地震の切迫性の高い地域（特定観測地域、東海、東南海・南海地震対象地域等）では、緊急物資等の輸送とともに被災後の地域産業の復興を支えるための緊急輸送網の確保が喫緊の課題である。このため、人口や資産が集中する背後圏を持つ港湾、陸上交通が途絶した場合に海上輸送に頼らざるを得ない地域の港湾や耐震強化岸壁の空白域となっている港湾において、耐震強化岸壁の整備や臨港道路の耐震強化を重点的に行う。（千葉港、青森港等）

また、広域的な社会経済活動への影響を最小限にするため耐震強化された国際海上コンテナターミナルを整備する。

指標：港湾による緊急物資供給可能人口【約1,900万人(H14)→約2,600万人(H19)】

● 全国の耐震強化岸壁整備状況

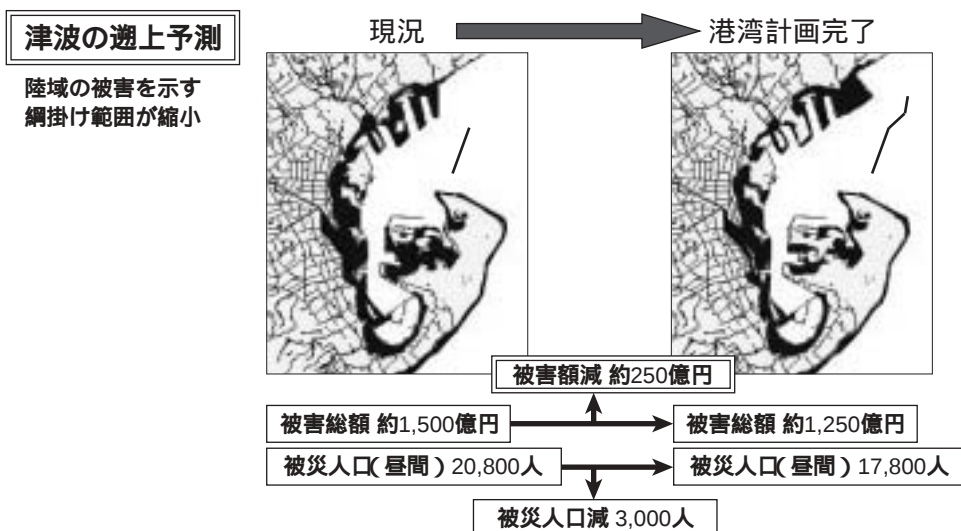


●津波・高潮被害の防止・軽減(東海・東南海・南海地震等大規模地震対策)

中央防災会議における「東海地震対策大綱」の見直し(平成15年5月)、「東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」の施行(平成15年7月)、「東南海・南海地震対策大綱」の決定(平成15年12月)など近年、緊急的な大規模地震対策が進められている。特に切迫性のある東海、東南海・南海地震では広域な津波等による甚大な被害が想定され津波への対策の緊急性が増している。

ところが、これまでの防波堤の整備は、船舶の安全な入出港や係留等通常の港湾活動を支えるために静穏度を確保することを主目的として行ってきた。一方で、港湾内の資産の増大や港湾への来訪者の機会の拡大等に伴い、津波等の自然災害から港湾の資産や物流機能を防護し、また、港湾で働く人々や来訪者の生命を守ることも重要となっている。このため、従来から防波堤が果たしてきた静穏度の確保に加えて、津波等に対する被害の防止・軽減についてもその効果を明らかにし、実施に向けた検討を開始するとともに港湾への来訪者等が緊急に避難できる緑地等を整備する。

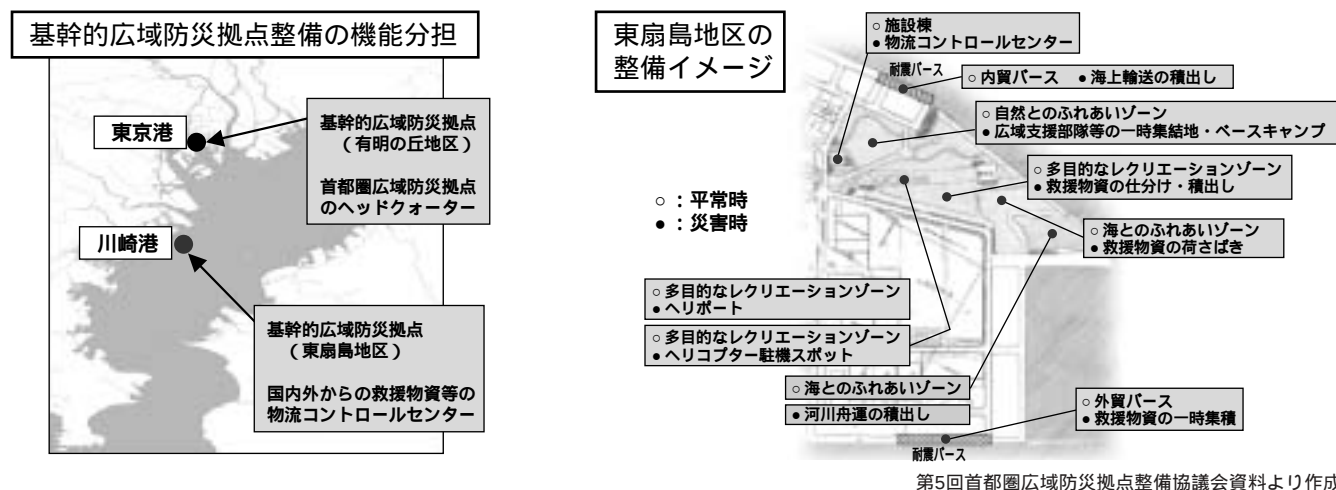
●防波堤による津波被害の防止・軽減効果



東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備等臨海部防災拠点の整備

●基幹的広域防災拠点を川崎港において整備

首都圏において、都県市単独で対応不可能な大規模地震等による広域あるいは甚大な被害に対し、国及び都県市が協力して、迅速かつ円滑で効果的な救援復旧活動を展開し、被害を軽減するとともに、我が国の中枢機能の回復を早急に図るために、東京湾臨海部において基幹的広域防災拠点(防災拠点緑地)を整備する。



●港湾における防災空間の整備

耐震強化岸壁と一体となり震災時の住民の避難や被災地の復旧・復興の支援拠点として臨海部に防災拠点(防災拠点緑地)を整備し、防災機能の向上を図る。

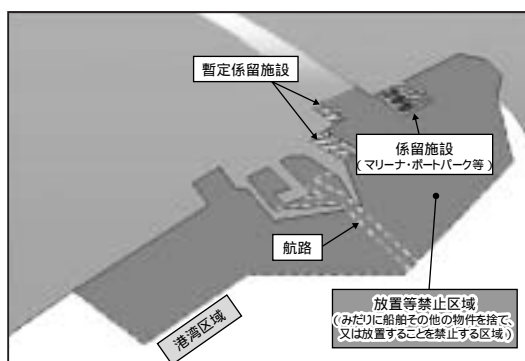
(2) 港湾の信頼性の向上

改正SOLAS条約に対応した港湾の保安対策の強化による国際物流ネットワークの信頼性確保(再掲)

放置艇対策の推進

船舶の放置等の禁止や監督処分規定を定める港湾法の改正及び小型船舶の登録等に関する法律の制定を受け、港湾における放置艇問題を解消するため、圧倒的に不足するプレジャーボートの係留・保管能力の向上を図る必要がある。このため、ポートパーク整備事業により、既存の静穏水域の護岸を活用した係留施設や、公共空地等を活用した陸上保管施設の整備を促進する。(千葉港等)

指標：港湾におけるプレジャーボートの適正な係留・保管率【45%(H8)→55%(H18)】



1 平成12年3月の港湾法改正により、港湾管理者は船舶の放置等禁止区域の指定、違法船舶の撤去、売却、廃棄等の処分が行えるようになった。



1 運河・水路等の既存静穏水域の護岸を活用した簡易な係留施設(ポートパーク)のイメージ。

長周期波対策等の推進

我が国産業の国際競争力の維持・向上が求められているなか、長周期波等の影響による係留・荷役障害の発生を防止することで、安全性の確保、物流コストの削減、運航の定時性・安定性の確保を図るために、防波堤等の波浪制御構造物による対策等を推進する。(細島港等)

● 長周期波対策による効果の事例(細島港)

細島港では、長周期波による荷役作業の不能、船舶の岸壁への衝突、係留索の切断、岸壁施設の損傷等、により
過去最大で年間約10億円の損失が発生

対策により

解消

細島港南沖防波堤、北沖防波堤の効果

北沖防波堤(整備中)

南沖防波堤(整備中)

・ 入港回避の解消
・ 荷役中断の解消
・ 岸壁施設損傷の解消

・ 台風期の輸入実施(従来回避)

・ 荷役効率の向上

・ 船体動揺の低減(タグボート使用の解消)

その他
・ 他港への回避行動の解消
・ 船体損傷の解消